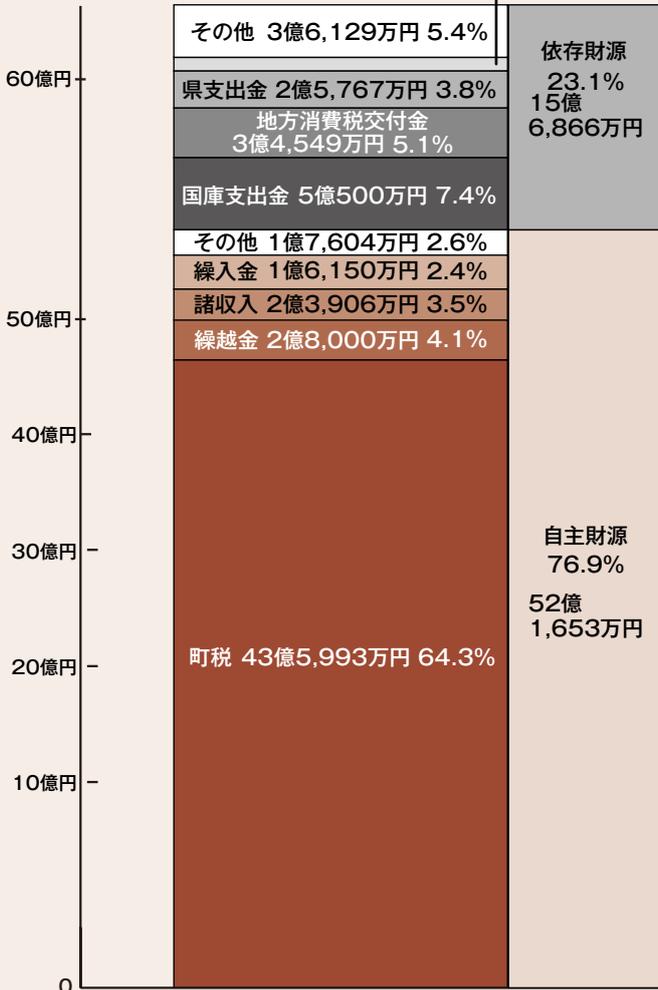


歳入

67億8,519万円

国有提供施設等所在
市町村助成交付金
9,921万円 1.4%



依存財源
23.1%
15億
6,866万円

自主財源
76.9%
52億
1,653万円

歳出

65億8,622万円

その他 1億4,686万円 2.2%
議会費 9,081万円 1.4%
公債費 1億5,160万円 2.3%



自主財源:町税など町が自主的に収入できるお金
依存財源:国庫支出金など国や県によって金額が決められたり、割り当てられたお金

▶問合せ 総務課企画財政・情報係 ☎28-0913

平成二十九年豊山町一般・特別会計歳入歳出決算審査意見書(抜粋)

豊山町監査委員 大野眞一
豊山町監査委員 大口司郎

一般会計及び特別会計の決算総額は、歳入百二億四千六

十萬三千九百七十八円、歳出九十九億五千九百七十七万四千七百二十四円、歳入歳出差引額二億八千九百六十二万九千二百五十四円で、翌年度へ繰り越すべき財源九百七十九万七千七百九十九円を差し引いた実質収支額は、二億七千九百八十三万五千五百三十五円の黒字を計上した。

一般会計において対前年度比でみると歳入では、自主財源の柱である町税収入において、個人町民税が三千五百六十二万三千八百二十二円増額、法人町民税が六千七百七十三万八千七百七十七円増額、固定資産税は二億四千四十二万九千八百三十九円の増額となった。全体で額にして、三億三千九百五十五万二千四百二十九円の増額となり前年度より八・四%の増となった。

歳出は主に教育費二億九千三百二十三万三千八百三十九円、総務費二億八千六百五十四万五千九百九十一円の増額と

なった。

また、減少したのは衛生費の△一億三千九百五十五万八千四百二十四円、農林水産業費△千九十一万五千五百円である。全体では四億五千九百九十五万四千六百七十三円の増額となった。

歳出では、経常経費の見直しを図り、費用対効果を十分検証するなかで限られた財源を効果的に配分し、事業が適正に行われたことは評価できるが、常にコスト意識をもって効果的、効率的な予算執行に心がけていただきたい。

景気は、緩やかな回復傾向が見受けられるものの、世界貿易の動向など将来において不透明感がある。事業を推進するため財源確保への情報収集を行うとともに、近年多発している集中豪雨への対策、学校施設整備計画策定に基づく改修計画、公共下水道のインフラ整備等、今後予定される事業について経費を的確に把握し効率的、計画的に財政運営をしていく必要がある。

住みたい、住み続けたいと思うまちに向け、健全な行政運営が推進されることを期待し決算審査の意見とする。

▼問合せ 監査委員事務局 (議会事務局) ☎28・6000

4